

第46回定期大会懇親会

来賓を多数迎え盛會に

来賓一覧

敬称略 順不同

衆議院議員

- 海江田万里(民・東京1)
- 中山義浩(民・東京2)
- 松原仁(民・東京3)
- 藤田憲彦(民・東京4)
- 平将明(自・東京4・比)
- 小宮山洋子(民・東京6)
- 菅原一秀(自・東京9・比)
- 江端貴子(民・東京10)
- 小池百合子(自・東京10・比)
- 下村博文(自・東京11)
- 青木愛(国民・東京12)

参議院議員

- 木村剛司(国民・東京14)
- 初鹿明博(民・東京16)
- 平沢勝栄(自・東京17)
- 菅直人(民・東京18)
- 加藤公一(民・東京20)
- 山花郁夫(民・東京22)
- 柳瀬万里(民・東京23)
- 阿久津幸彦(民・東京24)
- 高木美智代(公・東京比例)
- 橋本勉(民・東海比例)
- 菅川洋(国民・広島1・比)
- 藤井裕久(民・南関東比例)

都議会議員

- 中川雅治(自・東京都)
- 山口那津男(公・東京都)
- 竹谷とし子(公・東京都)
- 佐藤ゆかり(自・全国比例)
- 片山さつき(自・全国比例)
- 大塚隆朗(港区) / 猪爪まさみ(新宿区) / 増子博樹(文京区) / 中村明彦(台東区)

非現職

- 山田美樹 / 辻清人 / 若宮健嗣 / 松本文明 / 秋元司 / 土屋正志 / 木原誠二 / 小田原潔 / 小倉将信 / 太田昭宏 / 円より子

自民党

- 豪(品川区) / 村上英子(渋谷区) / 早坂義弘(杉並区) / 小宮安里(杉並区) / 矢島千秋(豊島区) / 三原将嗣(足立区) / 山崎一輝(江東区) / 相川博(八王子市) / 吉原修(町田市) / 小磯

民主党

- 明(南多摩) / 野島善司(北多摩第四) / 伊藤興一(品川区) / 長橋桂一(豊島区) / 大松成(北区) / 野上純子(葛飾区) / 東村邦浩(八王子市)

公明党

- 高島直樹(自・足立区)
- 東京都行政書士政治連盟(吉岡三男幹事長) / 東京司法書士政治連盟(大野寿之会長) / 東京都社会保険労務士政治連盟(富田弘会長)

内閣府行政刷新会議事務局

- 日本商工会議所(青山伸悦理事・荒井恒一産業政策第一部部长・山内清行産業政策第一部部长) / 東京商工会議所(西尾昇治理事) / 全国商工会連合会(寺田範雄理事) / 全国中小企業団体中央会(及川勝政推進部長) / 東京都中小企業団体中央会(石田靖博情報課長)

義副会長・小川令持幹事

- 連盟(濱田茂副会長・六槍勝明幹事長) / 千葉県税理士政治連盟(富澤康人会長) / 町田茂幹事長 / 関東信越税理士政治連盟(前嶋修身副会長)

顧問

- 関本和幸、波多野重雄、平山玲皇、荻野弘康、徳重寛之、金子秀夫

相談役

- 増田昌弘、渡邊克己、石場健三、神田辰男、小野浩道、金子圭賢、中田美代司、佐藤慶子、内田篤高梨友正、田中保

大蔵財務協会 / 中央経済社

- 東京税理士会(神津信一会長) / 東京税理士協同組合(岡林憲昭副理事長) / 税務会計監査事務所健康保険組合(金子秀夫理事長) / 東京税理士会(アタ通信協同組合(浅井和夫常務理事) / 東京税理士事務所退職金共済会(高畑公一理事長) / 東京税理士厚生年金基金(岡田光一郎理事長)

自由民主党東京都支部連合会

- 合会(石原伸晃会長・内田茂幹事長) / 石森孝志八王子市長 / 松本洋平(前衆議院議員) / 日本税理士政治連盟(山川翼会長) / 近畿税理士政治連盟(南出力利会長) / 北海道税理士政治連盟(村越悦治会長) / 東海税理士政治連盟(芦川稔会長) / 中国税理士政治連盟(久保雅典会長) / 九州北部税理士政治連盟(野田武志会長) / 南九州税理士政治連盟(中島智喜会長)

来賓あいさつ(要旨)



民主党東京都総支部連合会 会長 加藤公一 議員

来年度に向けた税制改正の議論を本格的に始めるシーズンとなっております。

とりわけ私自身もここ何年間か汗をかかせていただいておりますのは、いわゆる納税者権利憲章、通則法改正の問題です。国会の中では理解者のほうが圧倒的に多いのではな

いかと思っておりますが、あと一步のところではなかなか成立に行き届いておりません。個々の国会議員と意見交換をしますと、そうそう多くの同僚議員が異を唱えるという場面には私は行き当たりませんので、何とか理解を深めて、次回大綱にはまた盛り込み、各党、各会派の先生方にもご理解をいただ

いて、ぜひ成就をさせたいと強く思っております。もちろん他の税制改正も大切です。ことこの件、まさに納税環境整備というよりは国家としての考え方、哲学の問題ではないかと思っておりますので、ぜひ力を合わせて実現に向けて汗をかかせていただきたいと思います。

消費税改正法案が成立しました。まだ細かなところの課題が残っています。まさに税の専門家である皆様方からしっかりとご意見を承って、誤りのない方向に、細部に至るまでしっかりと設計をまいりたいと思っております。この改正法案の中にも、経済環境にも十分配慮して、成長目標も掲げて

おります。これについても中堅・中小企業の皆さんにご協力をいただかなければならない点が多いかと思っております。皆様方の日頃のお仕事の中での思い、ご意見、ご指導というものが、私どもの政策立案の上の糧になってまいります。

消費税増税に向けての、低所得者対策、給付付き税額控除制度がよいのか、軽減税率制度の導入がよいのかという問題がございます。また転嫁をどうするのか、内税、外税をどうするのかという問題がございます。

同時にまた所得課税、法人課税、資産課税についても来年度の税制改正に向けて議論をして、そして消費税の増税の時期に合わせて、まさに一体の税制改革として実施をするという段取りが決まっているわけがございます。

こういう改正につきましても、東京の特殊な事情があると思っております。とくに相続税につきましても、大都市特有の税制といっても過言ではない今の状況がございますので、皆様方のご意見も踏まえて、東京選出の国会議員としてしっかりと発言をさせていただきたいと思っております。

税理士法改正という皆様方にとりまての大きな問題がございます。いづれにしても、課題の1つ1つにつきまして、わが党は、皆様方のご意見、そしてまたご要望をしっかりと踏まえて、対応をしていきたいと考えております。

皆様方の声が税制の制度確定の過程に反映されるように、話し合いのできる機会をとということについては、ぜひ定着させなければならないと思

います。そして税務当局が納税者の義務ばかり強調するわけでありませ

けれども、これはむしろ憲法の財政民主主義の立場からすれば、納税者の権利ということ

は当然の前提です。それを確認する法的な根拠をつくるということも、これを拒否する理由は私にはなにもないと思

っております。今一番の課題は、社会保障と税の一体改革です。これは三党合意ですので、私どもはしっかりと踏まえながら、今後の課題としてまいりたいと思

います。社会保障の課題については、とくに医療や介護等で議論が十分ではありません。その方向性も含めて、しっかりと確定をしていくこと

であります。消費税については、逆進性を緩和する対策を、制度の設計の中にきちんと盛り込まなければ増税は発動できないという歯止めがかかって

おります。また、給付付き税額控除があるいは軽減税率という問題もあ

ります。皆様方はそのクライアントのお声から、やはり給付付き税額控除が望ましいというご要望だろうと思

います。しかし、消費者一般のアンケートを取りますと、もう7~8割が軽減税率と、こういう率直な声があることも事実です。その事業者の方々

に過大な事務負担を強い



自由民主党東京都支部連合会 政調会長代理 中川雅治 議員

8月10日に三党合意により消費税の増税を含む社会保障と税の一体改革関連8法案が成立を

しました。これから特に消費税の増税に向けての環境整備、そしていろいろな細目、課題がたくさん残っております。それを議論し、詰めて、政令あるいは省令、その実施のいろいろな細目

にしてしっかりと確立をしていくという、手順が残っております。消費税増税に向けての、低所得者対策、給付付き税額控除

制度がよいのか、軽減税率制度の導入がよいのかという問題がございます。また転嫁をどうするのか、内税、外税をどう

するのかという問題がございます。同時にまた所得課税、法人課税、資産課税についても来年度の税制改正に向けて議論をして、そして消費税の増税の時期

に合わせて、まさに一体の税制改革として実施をするという段取りが決まっているわけがございます。

こういう改正につきましても、東京の特殊な事情があると思

います。とくに相続税につきましても、大都市特有の税制とい

っても過言ではない今の状況がございますので、皆様方のご意見も踏まえて、東京選出の国会議員としてしっかりと

発言をさせていただきたいと思っております。税理士法改正という皆様方にとりまての大きな問題がござ

います。いづれにしても、課題の1つ1つにつきまして、わが党は、皆様方のご意見、そしてまたご要望をしっかりと

踏まえて、対応をしていきたいと考えております。皆様方の声が税制の制度確定の過程に反映されるように、話し合いので

きる機会をとということについては、ぜひ定着させなければならないと思

います。そして税務当局が納税者の義務ばかり強調するわけでありませ

けれども、これはむしろ憲法の財政民主主義の立場からすれば、納税者の権利ということ

は当然の前提です。それを確認する法的な根拠をつくるということも、これを拒否する理由は私にはなにもないと思

っております。今一番の課題は、社会保障と税の一体改革です。これは三党合意ですので、私どもはしっかりと踏まえながら、今後の課題としてまいりたいと思

います。社会保障の課題については、とくに医療や介護等で議論が十分ではありません。その方向性も含めて、しっかりと確定をしていくこと

であります。消費税については、逆進性を緩和する対策を、制度の設計の中にきちんと盛り込まなければ増税は発動できないという歯

止めがかかっております。また、給付付き税額控除があるいは軽減税率という問題もあ

ります。皆様方はそのクライアントのお声から、やはり給付付き税額控除が望ましいというご要望だろうと思

います。しかし、消費者一般のアンケートを取りますと、もう7~8割が軽減税率と、こういう率直な声があることも事実です。その事業者の方々

に過大な事務負担を強い



会場一杯に掲げられた後援会旗



菅直人前首相と一緒に



小池百合子議員と後援会役員



青木愛議員と地元税政連役員

祝電・メッセージ

次の方々から定期大会および懇親会に、祝電・メッセージをいただきました。

中野寛成衆議院議員(大阪8区) / 水戸将史参議院議員(神奈川県) / 山下太郎都議会議員(北多摩第四)

自由民主党東京都支部連合会(石原伸晃会長・内田茂幹事長) / 石森孝志八王子市長 / 松本洋平(前衆議院議員) / 日本税理士政治連盟(山川翼会長) / 近畿税理士政治連盟(南出力利会長) / 北海道税理士政治連盟(村越悦治会長) / 東海税理士政治連盟(芦川稔会長) / 中国税理士政治連盟(久保雅典会長) / 九州北部税理士政治連盟(野田武志会長) / 南九州税理士政治連盟(中島智喜会長)